



2つの視点とお願い

17日の参観日にはたくさんの保護者の方にお越しいただきありがとうございました。たくさんの保護者の方にお越しいただくことは子どもたちにとっても教職員にとっても励みになることですので、今後ともよろしくお願ひします。

さて、参観にあたっては様々な参観の視点があると思いますが、わたしたちの羽合小学校の授業は、行動目標を掲げ、行動する場面を設定し、行動を評価する授業づくりが進められています。参観にあたっては2つの視点と2つのお願いを参考にしていただけたらと思います。

視点1【ねらいで示された行動ができたか】

わたしたちの羽合小学校では、授業のねらいを行動目標にするという「ねらいの行動目標化」に取り組んでいます。学校は教育活動を行いますから、その活動には当然「ねらい」があります。行事にも儀式にも1時間1時間の授業にも「ねらい」があります。それは、最終的には羽合小学校の教育目標に繋がっていくのですが、そのねらいを子どもたちに示すとき、その時の具体的な行動として示すことを「ねらいの行動目標化」と呼んでいます。

例えば授業のねらいとして「～を理解することができる」という目標をかかげることは

よくあることなのですが、理解できているかどうか、しっかりつかめたかどうかを確かめることは容易ではありません。羽合小学校では「理解したことを説明できる」というようにねらいを行動として設定し、説明できるかどうかという行動で示すことを大切にしているのです。

視点2【友達と関わったか】

わかったつもりでも曖昧なままでは説明できません。説明することで、必要なこととそうでないことが整理され、道筋をたてて理解することができます。また、説明し合うことで人の考えに触れ、確かなものはより確かに、あいまいなものはより明確になっていきます。人と関わり合うことは、考えをまとめ、練り上げていく上で大切なことなのです。

お願い1【にっこり笑顔で】

すでに心がけていただいておりますが、教室の内外的保護者の方の笑顔は大切です。腕を組んで口を一文字に結んだままではお子様も、その学級の子どもたちも伸び伸び学習活動に取り組みにくいのではないのでしょうか。笑顔と優しいまなざしでお願いします。

お願い2【お伝えください】

参観でお気づきの点がありましたら、ぜひアロハノートなどで学校にお伝えください。

次回参観日は6月19日（金）の予定です。

【祈 健闘】 鳥取県ソフトテニス連盟から本校の児童を「第19回小学生ソフトテニス選手権大会」に鳥取県選抜チームの選手として派遣したいという連絡がありました。5月に広島県で試合が行われます。 羽合STスポーツ少年団 羽合小4年 實田 煌羽 羽合小4年 吉野緑人